

2022年5月12日(木)

主催：(一般社団法人)障がい児成長支援協会

共催：放課後等デイサービス「やどり木」

『特別支援が必要な子の学習支援の話《国語》』

○作文を書くことが苦手な子への指導

○長文理解が苦手な子への指導

○漢字など書くことが苦手な子への指導

(一般社団法人)障がい児成長支援協会 協会長

山内康彦(学校心理士・ガイダンスカウンセラー)

《▲まずは絶対にやってはいけない指導①》

作文が苦手な子は、『言語理解が苦手』な子が多いです。

つまり“口での支援”が苦手な子なのです。

「どうしてできないの？」

「次はこれを書くのでしょ！」

といったまくしたてるような言い方は最悪！

やさしく丁寧な言葉がけ . . .

そして絵や図、写真を使った支援が有効

《▲まずは絶対にやってはいけない指導②》

作文が苦手な子の中には、『書字障害』の子が何名かいます。

つまり“肢体不自由の子に走れ”と言っているのと同じ事です。

場合によっては、パソコンやワープロを使って原稿を書くことを認めることも必要です。

そもそも大人になったら手書きは、ほぼない

《今までやってきたスタンダードな指導①》

(例) 動物園に行ったことを作文に書こう！

【支援①】 動物園の写真をとくさん撮る

【支援②】 見てきた動物の写真をならべる

○ゾウ→○キリン→○お弁当→○園長の話

【支援③】 写真の順番に書きましょう

昨日、遠足で東山動物園に行きました。

はじめにゾウを見ました。とても大きくて、ウンチも大きかったです。少し臭かったです。

次にキリンを見ました。～

お昼は美咲ちゃんとお弁当を～

《今までやってきたスタンダードな指導②》

(例) ビデオを見てから本を読もう
挿絵の多い本を選ぼう

【支援①】 まずはビデオを見て見通しをもつ

【支援②】 挿絵を見ながら場面を思い出す

【支援③】 場面毎の感想を書いていく

◎発達障害の子は、見通しが無いものを嫌います。一度ビデオを見ることで話の見通しをもって本を読むことができるのです。

◎挿絵が多いと場面をイメージしやすいです。

支援の基本→“なぜできないのか？”を
子ども達の気持ちになって寄り添って考える

▲何を書いて良いかわからない

▲どうやって書いてよいかわからない

▲上手く書けたのかどうかわからない

加えて上記以外に“めんどう”という『4重苦』
が作文なのです。

→「これならできそう」と思えるものに取り組み
せることが重要となる。

→ 「これならできそう」 と思えるものに取り組み
せることが重要となる。

はじめは “やらせ” でよい

特別支援教育とは

『できることからの出発』教育

まずは、できることを増やして自信をつける
そして、そのあとで . . .

通常の教育は

『できないことへのチャレンジ』教育

《日記の書き方①》

複数の課題が混在しているからよりわからない！

《同じようなこととして》

▲算数の文章問題は・・・

「立式」「計算」「答え」の3つあるから苦手

▲片付けは・・・

「集める」「分ける」「整頓する」の3つ

☆まずは、日々の日記で

書く力を鍛える！

《日記の書き方②》

指導をシンプルにわかりやすくする

日記を書く“パターン”を教えるだけ

▲何を書いてよいかわからない。→※ココだけ

◎どのように書くのかお手本を示す

◎書き方を全てお手本で示す

(よいお手本を示す)

つまり指導することは

(例)「今日楽しかったことが3つあるかな？」

・ なかったときに、楽しかったことを付け加える支援をするだけでよい。

※たまには、楽しかったことが2つの日や4つの日があってもよい

《日記の書き方③》

☆以下のパターンにあてはめて書くだけ！楽々

題 今日楽しかったこと 3年2組 山内 康彦

□今日楽しかったことは、全部で3つあります。

□一つ目は、～です。

□二つ目は、～です。

□三つ目は、～です。

□その中で一番楽しかったことは、～です。

□わけは、～だからです。

□そのことをお母さんに話したら、

「
」

と、言いました。

□ぼくは、～と思いました。

□明日も楽しいことが3つあるといいなあ。

《日記の書き方④》

☆なんと応用もできる。

①読書感想文

- この本を読んで楽しかったことは、全部で3つあります。
- 一つ目は、～です。二つ目は、～です。三つ目は、～です。
- その中で一番楽しかったことは、～です。□わけは、～。
- そのことをお母さんに話したら、「 」と、言いました。
- ぼくは、～と思いました。
- 次にこの本を次に不思議に思ったことを3つ書きます。
- 一つ目は、～です。二つ目は、～です。三つ目は、～です。
- その中で一番不思議に思ったことは、～です。□わけは～。
- 最後にこの本を読んでよかったことを2つ書きます。
- 一つ目は、苦手な読書感想文がスラスラ書けたことです。
- 二つ目は、早く読書感想文の宿題が終わって気持ちが楽になったことです。
- 来年も

代表になるのはクラスで1名のみ

必死に書いても、ほとんど

「がんばったね」のはんこで終わり . .

▲賞を取らせるために書くのですか？

○書いてよかった。 ○がいはって書けた。

たくさんほめられた

→◎また書いてみたい

《日記の書き方⑤》

☆更に将来にわたって様々な応用もできる。

②遠足や社会見学のまとめの新聞

③卒業文集や修学旅行記

④そして・・・「面接」にも役立つ

私が御社を選んだ理由

私が御社を選んだ理由は全部で3つあります。

一つ目は 二つ目は 三つ目は、

その中で弊社を選んだ一番の理由は、

そのことを父と母に話したら

「
」

と、言ってくれました。

私は、この会社に入社して、自分や家族はもちろん、地域の皆様にも貢献できる立派な社会人になりたいです。

《まずは、原稿用紙の書き方①》

☆みなさんは、今までに何度も書き直しをさせられたことはありませんか？

(卒業文集・修学旅行記・読書感想文など)

《よく指導されるポイント》

○話が変わるときは、段落を変えて書く。

○話す言葉は「 」を使って書く・・・等等

一度自分の実力を試してみよう！

山内が提示した“お手本”を『読書感想文』として原稿用紙に書き写してください。

《まずは、原稿用紙の書き方②》

☆正しく書けていないことに気づきましたか？

(※学校でも、その場限りの指導が多い。

しっかりと書き方を指導してもらっていない)

《ポイント》

①まずは、題の書き方 『 』を使う

②学年・組、名前の書き方

③話し言葉「 」の書き方と次の行の

“と、言いました”が改行になること

その他にも

※ぜひ日頃のお子さんの指導にお役立てください。

長文理解のさせ方

“長文理解” と思うから楽しくない

※ “長文理解” は、『宝探し』と考えて遊ぶ気持ち

①必ず答えは問題の近くに隠れている

※まずは、問題文の前後にある

②学年が進むにつれて問題文から答えになる部分が離れ行くから難しくなる

▲その学年の長文は答えの距離が遠く探せない

◎まずは、取り組む長文の学年レベルを下げ、
答えを見つけることができるものに取り組む

長文理解のさせ方

出典 (株) 学書「ウインター錬成」国語小1より

では、実際に小学校1年生の典型的な長文問題を解いてみましょう。

①基礎問題

②少しレベルが上がると

▲順番に解かないと気が済まない習慣は正す

◎まずは、できる問題から取り組むことがポイントとなってくる。

人前で話すことが苦手なお子さんに対して

×無理矢理話をさせる

×クラスの前で音読させる

みなさんは、最近35人の前で話をしたことがありますか？

→大人になってやらないこと→無理をさせない

◎まずは、少ない人数から『スモールステップ』

◎他の人に話したくなるような教材！

山内は『手品』を使って療育をしています。

手品の効用

- ◎『人をだますこと』最高のコミュニケーション
- ◎人をだましたら普通は叱られますが・・
手品は人をだまして喜ばすことができる
- ◎他の人に対して優越感をもつことができる
→このことが、『自己肯定感』につながっていく

山内はいつも100円ショップでネタを探します。
一度ご覧になりますか・・・

- ①「これならば、僕もやることができそうだ」
→②「ぼくもやりたい」→③「できた」→自信

漢字練習が苦手なお子さんに対して

×繰り返し書かせる→少ない回数でOK

(昔の指導) 正しく書く→(今は) パソコン

×小さい枠の中で書かせる→大きな枠の中で書く

×ハネやはらいなど、細かいところまで指導する

→宿題とは、何なのか？ 本来は・・・

□できないことをできるようにするのが学校

□できるようになったことを定着させるのが宿題

しかし長時間机に向かわせるために本質とは違う

学習を宿題として与えているケースが多い

◎「できることからの出発」

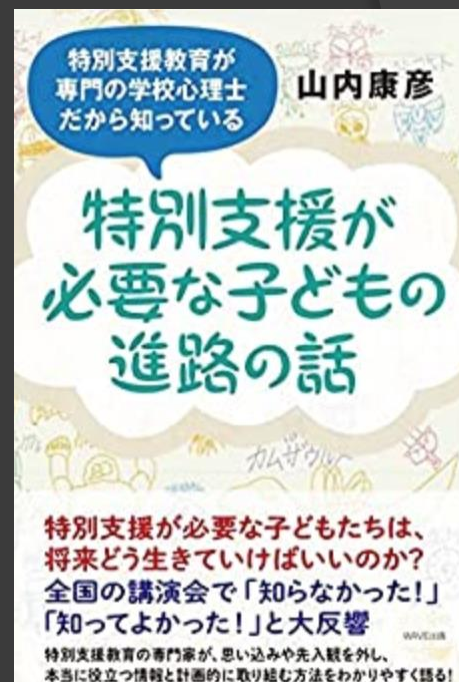
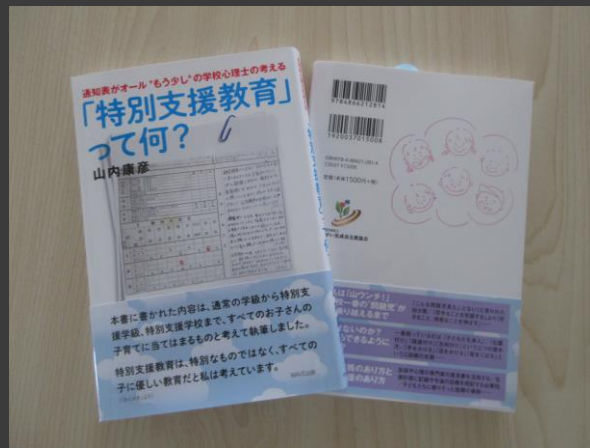
☆ハネやはらいを細かく指導することは間違い！

大好評！

- ①「特別支援教育って何？」
- ②「特別支援が必要な子どもの進路の話」

WAVE出版

→書店・アマゾン等で購入可能！



ご清聴ありがとうございました。

4月からFMラジオで毎週放送 「山内先生のランチトーク」

4 / 5 ~ 毎週火曜日 12時 ~ 13時

① 「愛知北FM放送」で検索

② 下へ → 「J C B Aで聴く」をクリック

③ 白い “▶マーク” で再生開始!

特別支援に関わる様々なお話を気軽に聴けます。

無料個別相談会を行います

お一人25分

※ZOOM 5月30日(月) 16時から20時まで

※ZOOM 6月4日(土) 18時から20時まで

※直接面接 6月12日(日) 9時半～18時まで

本講演会再放送5月15日(日)13時～14時半

☆次回(新)の講演会予告

7月13日(水)・14(木)18時半～